

令和 7 年 7 月 31 日

東員町議会 北勢線対策検討特別委員会 委員長

片松 雅弘 様

東員町議会北勢線対策検討特別委員会

副委員長 山崎 まゆみ

研 修 報 告 書

研修期間	令和 7 年 7 月 16 日 (水) ～ 7 月 17 日 (木)
研修 (視察) 先	阿佐海岸鉄道 (徳島県)
目的 (テーマ等)	「阿佐海岸鉄道の DMV について」
参加議員名 (複数の場合)	東員町議会北勢線対策検討特別委員会 委員 6 名と 議会事務局 2 名
資料添付の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

《研修概要、内容》

「阿佐海岸鉄道における DMV 導入について」・・・

説明者＝ 阿佐海岸鉄道 総務係員（企画広報担当）

ひらど ちよ 氏
平道 知代 氏

《背景と目的》

- ・車両自体が観光資源になり、地域の活性化に寄与することを期待
- ・国内初 DMV 本格営業運行となるため、学識経験者、研究機関、関係機関からなる「DMV に関する技術評価検討会」により、技術評価を実施した。

《DMV 概要》

- ① 道路から鉄道への乗り入れを可能とする特殊な構造の車両を備える。
- ② 走行モード返還装置を介して、道路と線路の双方を自由に走行できる車両。
- ③ 従来の鉄道と比べて軽量（約 6 t、従来の約 1 /6）

《DMV 検討の視点》

①長期耐久性の検証（タイヤの摩耗他）

☞「DMV 技術評価検討会」

通常は 4 年に一度の「重要部検査」を毎年実施している

②各種マニュアルの整備

③関係者への教訓・訓練

④バリアフリー対応について

- ・DMV については、車いすがそのまま乗降できない構造であること。
- ・ソフト面で柔軟に対応できる体制を整える。

★持続可能で安定的な運行体制

★事業者と自治体の責任・役割分担の明確化

★自治体の財政負担の軽減

⑤あさてつファンクラブ

⑥国交省からの支援

『地域創生経営・健全化計画』の策定をしている

○安全最優先の営業運行

○新たな人の流れを生み出す、阿佐東地域活性化への寄与

○DMV を核とした更なる経営改善

☆国交省の DMV 運行の条件をクリア

- ・DMV 専用線区である
- ・線路は行き違いできない単線
- ・DMV は連結しない単車運行

- ・ 鉄道信号にかわる、DMV 専用の保守システムの導入

《導入による 3 つのメリット》

- ①世界初なので、国内外の観光客を乗客として誘致できる
- ②鉄道車両よりも燃料費、保守費用、線路の維持費用はじめ運用コストを大きく軽減できる
- ③自社の経営改善、災害時には被災地への救援物資の輸送を素早く行うことができる

《自治体との連携》

- 阿佐東線 DMV 導入協議会（徳島県、高知県、海陽町、美波町、牟岐町）
オブザーバーとして国交省と JR 四国
スーパーバイザーとして徳島県知事、高知県知事

- 本協議会の会員自治体は、DMV 導入に必要な資金を補助金で計上して、阿佐海岸鉄道に支出する。

車両製作→約 420,583 千円

駅舎改築→約 482,692 千円

信号設備→約 691,164 千円

安全性の証明→約 37,561 千円

《所 感》

DMV の導入までに乗り越えられたハードルは相当高いものでしたが、導入にあたり、「地域公共交通会議」での協議を踏まえ、バスモードで運行するルート・運賃を設定されました。

「既存交通事業者と共存」することを前提に調整と協議を行ってこられました。

「地域公共交通会議」において道路運送法や地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議してこられています。

これらの阿佐海岸鉄道 DMV に向けた報告をお聞きし、新事業の取組や事業更新するためには、国の関係省庁や関係団体と協力しながら技術と知識を共有し、新技術の開発を目指す戦略的な手法が必要であると感じました。

技術革新が日進月歩で進みますし、地域住民のニーズも多様化してきています。

北勢線は 2 市 1 町の沿線自治体の連携が欠かせません。地域の交通ネットワークの利便性向上のために、地域住民の方の声を聞きながら、国交省の補助が受けられるようにするための内容を確認して、地域のためのより良い公共交通の検討について北勢線の在り方について納得していただける結論に導く任務を、今後もしっかり務められるように、北勢線対策検討特別委員として、引き続き全力を尽くしていきたいと思います。